

公表

ワーカーズコープこもれび

○事業所名	ワーカーズコープこもれび		
○保護者評価実施期間	2025年1月31日		2025年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年1月31日		2025年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもおよび保護者からの満足度	日々の活動や季節の行事、昼食やおやつに何が食べたいかなど、些細なことでも子ども達から意見・要望を聞き、極力取り入れるようにしている。 また、保護者からの要望(延長対応、送迎など)についても柔軟に対応している。	全ての意見・要望を叶えることは難しいが、今後も柔軟に対応していきたい。
2	生活空間設備・環境設定	プレールームを広く設け、家具を壁際に設置することで死角をなくしている。 また、1人で過ごしたい子どもには脱衣所を解放したり、ポールハウスなどを用意することで個別の空間を設けることも可能である。	一方で子どもたちが様々な部屋で過ごすことになり、目が行き届かない場合も想定できる。職員全員が一か所に留まって支援をしないよう今後も継続していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会と提供 (児童クラブ、児童館、地域の子どもと活動する機会の提供)	知的、身体、情緒など、様々な障害を抱えた利用者が一度に利用する為、全員が一斉に地域交流として外出することは人員的にも設備的にも難しい。事業所に招く場合も、見慣れない人が来ることでストレスを感じながら過ごす子が出てくるのではと予想される。また、以前、保護者から「そのような機会を正直欲していない」との意見も頂いた為、意欲的に行動はしていない。	交流を行う場合は、少人数であれば実施可能だと考えている。近隣に児童館がある為、児童館の利用も検討していきたい。
2	非常時の対応	非常食などの災害備蓄品は準備してあるが、利用者10名分(一日の利用上限)+職員分となると数が足りない。 「緊急時における施設での対応について」のマニュアルを書面やメールにて配布したが、配布頻度も少なかった為、上手く伝わっていないと感じる。	備蓄品の補充および定期的な情報共有など、情報伝達に力を入れていく。
3			